

令和7年度 ターミナル管理運営状況報告書

令和 8年 4月 30日

指定期間	令和7年 4月 1日から 令和8年 3月 31日まで
指定管理者名	苫小牧国際コンテナターミナル(株)
所管課名	業務経営課

1 コンテナ取扱実績 (単位: TEU)

コンテナ取扱種	令和7年度(A)	令和6年度(B)	差異(対前年比)(A)-(B)
輸入	84,684	88,978	-4,294
輸出	36,737	36,353	384
空	49,902	55,529	-5,627
内航	49,488	51,898	-2,410
合計	220,811	232,758	-11,947

2 収入の状況 (単位: 千円)

主な収入項目		予算額	決算額
指定 管理 業務	利用料金収入		
	荷さばき地	210,524	212,150
	港湾施設用地	946	1,040
	荷役機械	153,582	137,123
	冷凍コンセント	117,537	117,725
	冷凍コンセント(実証実験分)	—	7,227
	電気料金	1,886	2,156
	水道料金	686	886
自主事業収入		—	1,291,707
合 計		485,161	1,770,014

3 支出の状況 (単位: 千円)

主な支出項目	予算額	決算額
管理運営費(光熱費等)	102,193	97,104
管理運営費(GC関連等)	235,292	228,349
人件費	6,811	6,811
一般管理費	205	205
その他港湾施設維持管理関連費	8,399	10,693
消費税	12,911	12,891
工事請負費超過	0	0
自主事業支出	—	1,271,206
納付金	119,350	93,940
合 計	485,161	1,721,199

4 利用者からの要望に対する対応

要望・相談・苦情	改善等の内容
・ 苫小牧国際コンテナターミナル運営協議会安全部会を月1回開催している中で要望・相談・苦情について情報交換等を行っている。 ※出席者 苫小牧国際コンテナターミナル(株)、苫小牧港管理組合、構成5社、検数オペレーション、ターミナル協力会社、機械メンテナンス会社 ・ 同協議会の運営部会では（年1回不定期開催）乙仲業者の質問や要望に対応し改善できることには柔軟に対応している。	・ ③安全部会資料参照 運営部会議事録参照（冷凍コンテナ事前搬入への対応、降ろし取りサービスの開始、除雪への対応について）

5 自主事業の概要

計画	実施状況
自主事業としてのターミナル運営 ・ターミナル内のコンテナの入出庫作業及び蔵置管理 ・RTGやトップリフターを活用したコンテナ荷役 ・管理システムを活用したコンテナ貨物の入出庫管理 自主事業として活用している主な設備 ・RTG 6基 ・トップリフター 5機、リーチスタッカー 1機 ・コンテナターミナル管理システム(TOS)	・コンテナ荷役作業に必要なRTG、トップリフター及びリーチスタッカーに関しては定められた点検を適切に行っている。 ・RTG、トップリフター及びリーチスタッカーについては、安全作業基準書を定め、始業前点検を行い安全な荷役に努めている。 ・TOSについてはTOSメーカーと保守契約を締結しデータの保全や機器の管理に努めている。 ・2025年10月より費用削減を目的としてRTG1基の稼働を止め、受入れ隻数についても2基までとしたが、機械オペレーターへの負担軽減・トラック待機時間の削減を目的としてRTGの稼働を元に戻すこととした。

6 指定管理者が提案した取組等の実施状況

提案内容	実施状況
・繁忙期におけるリーファーコンセントの拡張及び口数の増設要望を受け、臨時増設しトライアル実証実験を行う。	・リーファーコンセント実証実験にて36口増加し、需要数を把握するため通年実施することとした。

7 事業計画のうち未実施の事業

特になし

8 配置人員

計画	実施状況
正社員2名 株主より出向4名 非常勤顧問1名 合計6名	正社員2名 株主より出向4名 非常勤顧問1名 合計6名